

CIVIL ENGINEERING DESIGN PRIZE 2016,JSCE

2016年度 土木学会デザイン賞 エントリー募集のお知らせ

土木学会デザイン賞は、公益社団法人土木学会 景観デザイン委員会が主催する顕彰制度です。公募対象を広く土木構造物や公共的な空間に求め、計画や設計技術、制度の活用、組織活動の創意工夫によって周辺環境や地域と一体となった景観の創造や保全を実現した作品、およびそれらの実現に貢献した関係者や関係組織の顕彰を行っています。

本賞は2001年度に創設され、過去15年間に137作品が受賞しています。近年では、規模は小さくとも地域の日常生活の魅力づくりに貢献している作品や、防護柵などの普及品のデザイン性を高めて公共空間の質の底上げを図った製品など、受賞対象も広がっています。これまでの受賞作品は、本賞のウェブサイトにてご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

対象作品

竣工または完成後1年経過したもの（2015年6月30日以前に竣工または完成したもの）

（注：2014年度より「竣工後2年」から「1年」に変更にしております）

日本国内に存在する、道路・街路・街並み・広場・公園・駅・河川・海岸・港湾・空港等の公共空間・公共施設や、駅舎・空港など公共性の高い建築、橋梁・堰堤・水門・閘門・堤防等の構造物等、実現した作品。

あるいは公共空間で標準的に使用される製品や材料

（ただし製品や材料は、すでに複数の使用実績があることが条件となります）。

2016年度スケジュール

（都合により変更することがございます。詳細は本賞ウェブページにてご確認ください）

作品募集（～7月上旬）▶一次選考会（7月中旬）▶現地調査▶二次選考会（10月中旬）▶

結果公表（11月中旬）▶授賞式・受賞者プレゼンテーション（1月下旬）

応募に先立ち、エントリーをお願いします。

エントリー受付期間：2016年5月1日（日）-2016年5月31日（火）

応募書類受付期間：2016年6月1日（日）-2016年7月4日（月）消印有効

詳細は土木学会デザイン賞ウェブサイトをご覧ください。

<http://design-prize.sakura.ne.jp>

※デザイン賞の推薦制度について

本賞では、デザイン賞の普及を目的とした推薦の募集も行っております。

推薦理由とともに、作品の名称、所在、竣工時期、関係者などわかる範囲の情報を、

本賞ウェブサイト内のお問い合わせフォームよりお送りください。詳細はウェブサイトの「作品推薦制度」のページをご覧ください。

問合せ先：〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 公益社団法人土木学会 景観・デザイン委員会 デザイン賞事務局 E-mail: prize@jsce.or.jp

土木学会デザイン賞2015年度 受賞作品

最優秀賞：2作品

一乗谷川 ふるさとの川整備事業（福井県福井市）



国の特別史跡である一乗谷朝倉氏遺跡を貫流する一乗谷川の改修を史跡公園整備と一体的で行った事業。細かい地形処理や、現場に合わせて丁寧に設えられた石積みや階段工のデザインに加え、適切な維持管理とエイジングによって、史跡と一体となった質の高い河川空間を創出している点が評価された。

北彩都あさひかわ（北海道旭川市）



土地区画整理事業、駅高架化、合同庁舎建設、河川環境整備、新橋の架橋等の公共事業を20余年かけて調整し、一体的に推進してきたプロジェクト。広大な敷地における膨大な数の事業を、継続的に調整し、隔絶されていたまちと川をつなぐトータルデザインを実現したことが評価された。

優秀賞：2作品

各務原大橋（岐阜県各務原市）



合併した両地域の交流拡大と渋滞緩和を目的として計画され、公開プロポーザルによって設計者が選定された新設橋梁。フィンバックという特徴的な構造形式による桁の薄く軽快な印象や、見上げた際の桁裏の造形、桁下空間、接続道路などの周辺デザインが評価された。

大橋ジャンクション（東京都目黒区）



中央環状線と首都高3号線が接続するジャンクション建設に際して、一体的に再開発を行った事業。屋上庭園のデザインの評価については賛否様々な意見が出されたが、ジャンクションという土木構造物に対して新しい解決策を提案し、人のための新たな空間を創出した点が評価された。

奨励賞：3作品

新湊大橋（臨港道路富山新港東西線）（富山県射水市）



港湾交通機能の向上と新たな観光資源の創出を目指して整備された日本海側最大級の斜張橋。周辺環境のスケールとの調和や、構造物全体に対する様々なデザイン上の工夫について評価されたが、人のための空間としての自歩道空間のあり方や、エレベーターシャフトと橋梁本体のデザインの統一性など、より一層の工夫の余地が指摘された。

狭山スカイテラス（埼玉県狭山市）



狭山市駅西口における市街地再開発と駅前広場、都市計画道路の一体的整備事業。河岸段丘を意識した見えの演出や、デッキによって駅とまちをつなぐ空間構成、市民に利用されている様子は評価されたが、自動車交通を優先した駅前広場設計や、高低差のある空間における柵等も含めた作り込みのバランスなどに対して、より一層の工夫の余地が指摘された。

行幸通り・行幸地下通路（東京都千代田区）



東京駅丸の内駅舎復元計画を機に行われた行幸通りの再整備事業。制約条件が多い中での丁寧な空間デザインや個々のアーチitectural designは評価されたが、場所の文脈上、東京駅駅前広場など周辺の都市空間との関係性を考慮せずに、評価できないという意見が多く出され、関係する事業が熟してからの再応募を期待し、現時点において奨励賞と結論づけられた。